

名城大学との産学連携プロジェクト 報告展示会が開催されました

(株) TSON (社長: 百生 彰、名古屋市中村区)、東新住建 (株) (社長: 辻明典、愛知県稲沢市)、名城大学理工学部建築学科 生田研究室 (生田京子准教授、名古屋市天白区) は新しい分譲住宅の開発に関する産学連携プロジェクトを本年4月より10月まで進めてまいりました。12月10日、11日の両日、名城大学においてプロジェクト成果である分譲住宅のプロトタイプ報告展示会が開催されましたのでお知らせいたします。



名城大学での報告展示風景/2015.12.10、12.11

● 開発テーマ/「子育て応援の暮らし」「10年後の住まい」

人口減少の時代に入り、家族形態や住まい方、働きかた等の全てがますます多様化しています。その中で分譲戸建住宅はどのように変化するべきかを模索しました。

● 新しい開発方法/学生の感性を取り込む

テーマ追求方法として、名城大学理工学部建築学科の生田京子准教授 (生田研究室) とプロジェクトに取り組みました。子供に最も近い存在である学生の感性、10年後に社会の中心的存在となっている学生の未来感に、専門家の経験を加えました。

● 成果

①「子育て応援の暮らし」をテーマに3種類のプロトタイプを開発

約48%の子育て家族は父母に家に来てもらい子供の世話をしてもらっています。(TSON調べ) これは生活がいかに変化しようとも子供を育てることの難しさを示しています。子育て応援をしてくれる人を呼びやすい家=子育てを応援することになる、とのコンセプトのプロトタイプを2種類開発しました。さらに、子供と程良い距離感を保ちながら子供の自立を促すというコンセプトのプロトタイプも開発しました。

②「10年後の住まい」をテーマに2種類のプロトタイプを開発

今後10年の生活変化を5つの視点 (車、エネルギー、ファブラボ、流通、雇用型テレワーク) からシミュレーションを重ねた結果、2種類のプロトタイプに到達しました。

● 商品化

プロトタイプは2016年より順次、東新住建 (株) と (株) TSONにて市場で販売の予定です。御期待下さい。

● 今後の産学連携プロジェクト

(株) TSONでは大学との産学連携プロジェクトを積極的に進めてまいります。その成果を取り入れ、今までにない視点での住宅マーケティング (各種調査、商品開発、販促開発等) に取り組んでまいります。

以上



名城大学での報告展示風景/2015.12.10 12.11



開発プロトタイプ/①子育て応援の暮らし

開発プロトタイプ/②子育て応援の暮らし

開発プロトタイプ/③子育て応援の暮らし



開発プロトタイプ/①10年後の住まい



開発プロトタイプ/②10年後の住まい

＜このリリースのお問合せ先＞
株式会社TSON 住宅市場データ室 小間幸一
電話番号: 0587-23-7641 (直通)